

よこすか E C O 通信

第33号(令和元年6月)

発行:横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

「環境カウンセラー」ってどんな人？

「環境カウンセラー」が地域等で活躍していることをご存知ですか？

「環境カウンセラー」は、環境保全に長年携わり、豊富な経験や専門的知識を持つ人材として、環境省の所定の審査を経て登録された人々です。環境教育・地球環境問題・リサイクル・エネルギー・環境マネジメントシステム・その他様々な分野の専門家が登録し、全国各地で活躍しています。また、幅広いニーズに対応した環境カウンセリングを行うため、「事業者部門」と「市民部門」の2部門があり、企業、学校、市民団体から個人にいたるまでさまざまな人からの相談にも応じてくれます。

🔍 **環境カウンセラー** で 検索 <https://edu.env.go.jp/counsel/>

横須賀市にも「環境カウンセラー」に登録し、地域等で活躍されている方々がいます。暮らしの中で、また仕事の中で『環境問題について詳しい人に聞いてみたい！』時は、「環境カウンセラー」に声をかけてみてください。

どんな時に「環境カウンセラー」に声をかければいいのか？

- 事業者部門…環境マネジメントシステムの監査、環境関連業務のアドバイス など
- 市民部門…子どもたちの環境教育、地域活動、自然観察などの指導 など
- その他共通…環境講座の講師、環境に関するアドバイス全般 など

横須賀市の「環境カウンセラー」を探すには？

環境省のホームページには、環境カウンセラーのプロフィールや活動情報が掲載されています。地域、専門分野、キーワードなどから検索して、ニーズに合ったカウンセラーを探すことができます。

6月は環境月間です

毎年、6月近くになると「環境月間」という言葉を聞いたりポスターなどを見かける機会が増えます。それは、**6月5日が「世界環境デー」**であることが関係しています。

1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、国連では日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と決めました。

日本でも環境基本法（第10条）で6月5日を「環境の日」と定め、6月を環境月間としています。



夏の環境学習講座などのお知らせ

夏休みはイベントがいろいろあります。ぜひ、この機会に体験してみませんか。



自然・人文博物館の夏休み企画（一部を紹介）

◆夏休み企画「夏休みクイズラリー」

クイズに答えながら博物館を楽しめぐるイベントです。クイズ回答者は博物館オリジナルのプレゼントがもらえます

開催日 7月20日（土）～8月25日（日）

時 間 9：00～17：00

会 場 本館展示室

参加費 参加自由

締 切 なし

その他 小・中学生対象



◆夏休み企画「博物館たんけん」

ふだんは見るできない資料室の中や貴重な資料を見学します。

開催日 7月25日（木）

時 間 10：00～12：00

会 場 本館

参加費 無料

定 員 20人

締 切 7月11日（木）

☆事前申込制。小・中学生対象。小学校3年生以下は保護者同伴。



申込方法 締切日までに往復はがきに下記の事項を記入して、問合せ先まで、お送りください。

往信面①行事名と参加者全員（家族のみ）の

②住所③氏名（ふりがな）④年齢

⑤電話番号

復信宛名面①参加者（代表者）の住所②氏名

問合せ先

横須賀市自然・人文博物館

〒238-0016 横須賀市深田台95番地

TEL046-824-3688

E-mail：m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp



すかっ子セミナー2019 追加募集中

土曜日、仲間といっしょに自然に触れてみよう！

主 催 市民活動団体によるすかっ子セミナー実行委員会

コース 5J→自然系A 川がき探検隊～河口から上流へ

8J→自然系D 海っ子・山っ子～磯の観察・磯遊び

対 象 市内の小学校3年生～中学生（原則）

活動期間 10月までの土曜日（A：第1、D：第3）

問合せ先 YPS事務局 藤澤 046-823-1965

海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 国土技術政策総合研究所「一般公開」

日 時 7月20日（土）10：00～15：00

会 場 横須賀市長瀬3-1-1

入 場 無料（事前申し込み不要）

内 容 「海・空・港」に関する研究の紹介と、普段は見るできない研究施設を公開します。子供から大人まで楽しく体験学習できるイベントです。

その他 体験型イベントへの参加は整理券が必要です。詳細は、ホームページ、チラシでご確認ください。

<https://www.pari.go.jp/>

問合せ先 港湾空港技術研究所 管理調整・防災部 企画調整・

防災課 TEL046-844-5040

国土技術政策総合研究所 管理調整部 企画調整課

TEL046-844-5019



神奈川県環境活動講座（第2回）

親子で学ぶ「田んぼと川の生き物ウォッチング」

親子で一緒に田んぼや川に生息する水生生物について学び、その生物の生息に適した水環境について理解を深めます

日 時 7月13日（土）10：30～15：30

会 場 講義：神奈川県環境科学センター

実習：平塚市内の田んぼ、渋田川周辺

※天候により実習が中止になる場合もあります

対 象 県内在住、在勤、在学の親子（子どもは小学校4年生以上）

定 員 30名（応募多数の場合は抽選）

締 切 7月1日（月）（必着）

申込方法 ハガキ、電話、電子申請により、①申込み講座名

（第2回環境活動講座）②郵便番号・住所

③電話番号④メールアドレス（持っている方のみ）

⑤参加者全員の氏名（ふりがな）・年齢を明記

※電子申請は「e-kanagawa電子申請」から。

申込み先・問合せ先

神奈川県環境科学センター環境活動推進課

〒254-0014 平塚市四之宮1丁目3番39号

TEL0463-24-3300



三浦半島のまん中に自然ふれあいの森をつくろう こどももおとなも サマースクール2019

●実施プログラム●

①7月14日（日）10：10～14：20 会場：湘南国際村めぐりの森 参加費大人2,000円、小中学生500円、幼児以下無料
～三浦半島のパムッカレ!?石灰華の見られる秘境を訪ねる～野原と小川の自然観察会 募集20人

②7月15日（月・祝）10：10～14：20 会場：湘南国際村めぐりの森 参加費大人2,000円、小中学生500円、幼児以下無料
～樹齢350歳のタブノキが見守る真夏の昆虫観察～森の自然観察会 募集20人

※7月13日（土）に予定していた「環境カウンセラー養成支援講座」は、都合により中止となりました。

主 催 三浦半島「自然ふれあい楽校」協働参加型めぐりの森づくり推進会議「自然ふれあい楽校」グループ

申込方法 地球をおもいきり味わおう！三浦半島版 シテコベ <https://www.shitekobe.com/>

問合せ先 三浦半島「自然ふれあい楽校」 <http://sizen-fureai.com>



「横須賀いいね★エコ活動賞」受賞団体の活動内容

「横須賀いいね★エコ活動賞」は、環境意識の向上と環境活動の活性化のため、市内の市民団体、学校等における「いいね★」といえる環境活動を表彰する制度です。

平成30年度は、学校等での1年以内の活動が対象の【学校短期活動の部】から2校、過去に横須賀ECO大賞（旧表彰制度）を受賞してから4年以上経過し現在も継続中の活動が対象の【功労賞】から8団体・学校が受賞しました。本号では、【功労賞】を受賞した8団体の中から、4団体の活動内容をご紹介します。※内容は平成30年度受賞時



横須賀「水と環境」研究会

昭和63年（1988年）の設立から31年、主な活動は月2回、三浦半島（主として横須賀市内）の川を楽しく観察しながら遡り、途中で水質、水生生物、水辺環境調査を行い、結果を会報や「川のかんきょうお知らせ板」などで市民・住民・行政への広報・周知を行っています。「よこすか環境教室」では、小学生の環境学習授業や川の上流での体験学習を、保育園では水の話と水の遊び体験指導「エコ育」を行っています。

また「小中学生の土曜体験プログラム

“すかっ子セミナー”」では、2002年以来、自然系の“川がき探検隊”と“海っ子・山っ子”のコースを担当、三浦半島の川・海・山で自然体験指導を行っています。また沢山池、芦名堰、湘南国際村めぐりの森などで市民協働による里山的環境づくり、保全活用を行っています。



平作川の上流で体験学習

よこすか市民会議 1000年の森をつくる会

よこすか市民会議1000年の森をつくる会は自然環境保全と美化を目的として、2001年に発足しました。現在会員数は約90名です。活動内容は植樹、竹林整備、竹細工を主体にしています。植樹においては潜在植生を考えて、市内の木の団栗から苗木を育て、その苗木を市内の空き地に植樹しています。竹林整備においては市のまちかど里親制度に参加して衣笠山公園内の竹林の枯れた竹、腐った竹、倒れた竹、密集した竹等の伐採と除去及び下草刈りを行っています。竹細工においては竹林整備で発生する伐採竹材を利用して、竹細工作品の作り方の研究を行うと共に主として子供たちを対象に竹細工教室を開いて竹細工作品の作り方を指導しています。



子どもたちへ竹細工指導



植樹用苗木を育てる

すかっ子セミナー自然系A&Dコース

平成14年（2002年）、公立学校5日制で休みとなった土曜日に小中学生を対象とする土曜体験プログラム“すかっ子セミナー”を開講、その中で自然系A“川がき探検隊”、自然系D“海っ子・山っ子”のコースを担当しています（5～10月の毎月第1、3土曜日）。“川がき探検隊”は、前田川や荻野川などの河口（海岸）から上流へ遡り、途中で水の生き物調査や環境省の「みずしるべ調査」などを行い、川遊び体験を行っています。“海っ子・山っ子”は、三浦半島の砂浜、岩礁・潮溜まり、アマモ場で生き物観察や磯遊びなど、恵まれた横須賀の自然を体感しています。

学校・学年の違った子どもたちが自然の中で団体行動をすることで、マナーを身につけ思いやりの心を育み、安全・危険を体得しています。



Aコース：関根川親水施設から上流へ川の中を歩いて遡る

水辺公園友の会

水辺公園友の会は、横須賀市の光の丘水辺公園開園（1999年）の1年後に、“かつてこの地にあった里山の素晴らしい自然環境の再生・保全・継承を目的”に結成され、以来19年間、公園管理者と協働して活動してきました。具体的な活動は、自然環境の保全、植物・昆虫・両生類などの調査・保護、自然観察会・探鳥会・キッズ自然教室・草木染教室・ミニ門松作り教室などの実施、近隣小中学校の活動への協力、二リンソウやハンゲショウ観賞会の際の来園者の案内、展示物の管理などで、火・土曜の午前中の定例活動日を中心に行っています。



ミニ門松作り教室

【功労賞】受賞の他4団体は、次号でご紹介します。



高山植物とは、厳密には森林限界以上の場所に生育する植物のことです。このような植物が生育する場所は、横須賀市はおろか、神奈川県内にはありません。しかし一般には、亜高山帯にみられる山地性の植物も、高山植物にふくめられています。このような植物には、ニリンソウやタニギキョウなど、少数ながら横須賀市内でもみることのできるものがあります。また、氷河時代の関東平野は、現在の北海道東部のような、冷温帯林と亜高山帯針葉樹林が混じりあった植生であったことが、化石からわかっています。この時代、横須賀にもたくさんの高山植物がみられたことでしょう。このように、横須賀市も高山植物との接点があります。

一方、意外なところに高山植物につながる植物が生育しています。それが海岸です。

海岸には、高山植物に近縁な植物がかなり生育しています。横須賀市にみられるものとしては、ソナレマツムシソウ（図1）、ハマアキノキリンソウ、ハマイブキボウフウ、ハマシャジン、ハマコウゾリナなどがあげられます（表1）。これらの植物は母種からの変異が軽微で、分布も比較的連続しています。ハマシャジンなどは、同じ形態が高山地域でもみえるため、ツリガネニンジンから分ける意味が疑問視されているものもあります。

表1. 海岸地域と高山地域の植物対応表

母種	海岸地域	高山地域
マツムシソウ	ソナレマツムシソウ(変種)	タカネマツムシソウ(変種)
アキノキリンソウ	ハマアキノキリンソウ(変種)	ミヤマアキノキリンソウ(変種)
イブキボウフウ	ハマイブキボウフウ(品種)	タカネイブキボウフウ(変種)
ツリガネニンジン	ハマシャジン(品種)	ハクサンシャジン(品種)
コウゾリナ	ハマコウゾリナ(品種)	タカネコウゾリナ(亜種)

イソギク（図2）は、高山植物のイワインチンに近縁ですが、独立した種で、分布も離れており、こちらはかなり古い時代に共通祖先から分化したと考えられます。

一見、高山地域と海岸地域では、環境がまったく異なるように思われますが、なぜ近縁の植物が存在するのでしょうか？それは海岸地域が、森林の発達がないため風と日差しが強く、水分に乏しい、という高山とよく似た環境であるからだと考えられています。

このような海岸の植物は、様々な場所で母種から何度も独立に進化して広がったのか、あるいは一度どこかで進化したものがその他の海岸へと広がったのかについては、現在研究が進みつつあります。



図1. ソナレマツムシソウ



図2. イソギク

（横須賀市自然・人文博物館 等々力政彦）

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館
（発行元）〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL：046-822-8327、FAX：046-821-1523、E-mail：ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆ HPIは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。（カラー版でご覧いただけます！）

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

